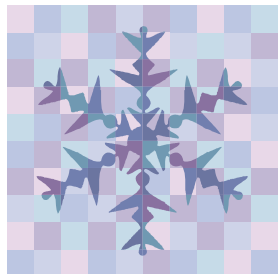


『楽園まで』張間ミカ／著・友風子／イラスト (Y913.6／ハ)



雪が降り続ける白に覆われた世界。人々は絶望から信仰を求め、教会は他とは目の色が異なり異能を持つ者を「悪魔」と定めて狩り始める。ハルカと弟のユキジは生きるために「狩人」の手から逃れ、亡き父の言う「楽園」を目指す…。作者は当時17歳。この作品でトクマノベルズの新人賞を受賞しています。頑張る2人には自然と感情移入してしまいます。どこまでも白く、冷たい空気まで伝わってくるような世界の雰囲気がとても良く描かれています。

図書館に新しい
漫画が入りました



『ちはやふる』 末次由紀
(Y726.1／ス)

主人公・綾瀬千早は小学生の時に、転校生・綿谷新の競技かるたに挑む姿に感化され、幼馴染の真島太一とかるたを始めます。ダイナミックに描かれていて、地味な印象があった競技かるたのイメージを覆されます(まさにスポーツです)！
主人公たちのかかるたへのまっすぐでひたむきな情熱に胸を熱くしてみても！？



中央図書館では、YA 広報誌『ポルターダ』と一緒に作ってくれる中高生の方を引き続き募集しています。図書館カウンター、電話または E-mail にてお問い合わせくださいね。

YA ブックリスト 第17号
平成23年12月発行
稲城市立中央図書館
稲城市向陽台4-6-18
☎042-378-7111
<http://www.library.inagi.tokyo.jp>
E-mail: inagilib@library.inagi.tokyo.jp

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



雪特集

冬本番で随分寒くなりましたね。

寒さに負けず、冬を楽しんでいますか？

今回はこんな季節におすすめのいろいろな

雪や冬の本を集めてみました。

一足先に本で「雪」の気分を味わってみませんか？

『ホワイトアウトの世界で』高野孝子／著 (Y297／タ)

零下40度の世界、無動力(スキー・犬そり・カヌー)でロシアからカナダまで、北極点をとおり地球のてっぺんを横断した日本の女性冒険家。その5ヶ月の過酷な冒険を成し遂げるまでの記録が綴られた一冊です。イヌイットの村での出来事や、氷点下での旅の生活など、実際に体験したことだからこそのリアルさ。高野さんが北極と出会う「どきどきわくわく」な冒険が詰まった一冊です！。



『雪は天からの手紙 中谷宇吉郎エッセイ集』池内了／編 (Y404／ナ)

中谷さんは、世界で初めて人工雪の制作に成功した物理学者です。また「雪は天から送られた手紙である」という言葉を残した人でもあります。自身の研究を含め科学というものを一般の人々に伝える為にたくさんのエッセイを出版しました。その中から池内さんが厳選したエッセイ集です。内容は北国での研究や、科学の面白さ、科学者たちとの交流など様々です。

ひらひらと降りてくる雪のひとひらの印象が変わるかもしれません。



『名画のなかの世界 描かれた四季』

ウエンディ&ジャック・リチャードソン／編 (Y723／リ)



四季の彩を世界中の画家たちはどのように感じ、描いてきたのでしょうか？

天候の変化と季節の移り変わりを描いた絵を幅広く集め、紹介した本です。

まじめな絵もあれば楽しい情景を描いたもの、空想の情景や、実際にある風景を描いたものなど様々です。

古今東西の画家たちが1枚の絵に込めた四季。どのように見、どのように感じたかを考えてみてください。

他にも「名画のなかの世界」のシリーズはたくさんあります。

☆第1期 「描かれた食べもの」「描かれた都市」「描かれた戦い」
「エンターテイナー」「描かれた仕事」「描かれた家族」

☆第2期 「描かれた旅」「描かれた遊び」「描かれた動物たち」
「水」「描かれた自然」

「描かれた自然」にも冬や、雪の絵が載っていて見ごたえがありますよ！

実際に外へ自然を見に行くなら…

『学校のまわりの草木図鑑 冬』おくやまひさし／解説・写真 (Y470／オ)
がオススメです。

通学路や学校の校庭、家のまわりなど「ふだんよく見かけるけど名前は何？」という草や樹木を集めた本です。

『ゆきの日』菊田まりこ／絵・文 (Y726.6／キ)

ある冬の朝、目が覚めると外は大雪。「しごとにおくれてしまう。さいあくだ！」と憂鬱になる「ぼく」が雪におおはしゃぎする子どもをみて、ふと自分の少年時代を思い出します。

同じ雪なのに、思うことは全く逆。

昔の自分を大切にしたい。忘れてしまったものや失くしてしまったものは、ちゃんと「ぼく」の中にあると教えてくれるサンタクロース。

クリスマス日に「ぼく」に起こった小さな奇跡。

ちょぴり大人向けの可愛い絵本です。



『乗り越える力』荒川静香／著 (Y784／ア)

フィギュアスケートの荒川静香さんの自伝。

中学3年生向けに一芸に秀でた著名人が人生を語る「15歳の寺子屋」シリーズの一冊です。

スケートを始めたきっかけからオリンピックで金メダルを獲得するまでの荒川さんのスケート人生が詳しく語られています。

学校生活とスケート生活での両立に悩んだ時期やそれを乗り越えてきた道のりについても語りかけてくれます。

目の前の問題に悩んでいる人や何かにチャレンジしている人におすすめです！



『雪だるまの雪子ちゃん』江國香織／著・山本容子／銅版画 (Y913.6／エ)

雪子ちゃんは野生（！）の雪だるまの女の子。雪深い山の村に、ある日、空から降ってきて、画家の百合子さんのお隣の家で暮らし始めました。

好奇心旺盛な雪子ちゃんにとって毎日が新しい発見の連続！百合子さんたちの話に耳を傾け、時々学校へも行きます。勉強をしたり友達と遊んだり…いつか

「とけちゃう前」にたくさんの物を見る。ささやかな喜びを見つけて日々を過ごす雪子ちゃんの毎日には生きる喜びがあふれています。

山本さんの銅版画の挿絵もきれいで冬の季節にぴったりな一冊です。

